
第6回 三朝町議会定例会会議録（第3日）

平成24年9月12日（水曜日）

議事日程

平成24年9月12日 午前10時開議

（質 疑）

- 日程第1 議案第53号 平成24年度三朝町一般会計補正予算（第3号）
- 日程第2 議案第54号 平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第3 議案第55号 平成24年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第4 議案第56号 平成24年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第5 議案第57号 平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第6 議案第58号 平成24年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第7 議案第59号 平成23年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第8 議案第60号 平成23年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第9 議案第61号 平成23年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第10 議案第62号 平成23年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第11 議案第63号 平成23年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第12 議案第64号 平成23年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第13 議案第65号 平成23年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第14 議案第66号 平成23年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第15 議案第67号 平成23年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第16 議案第68号 平成23年度三朝町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第17 議案第69号 平成23年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第18 議案第70号 平成23年度三朝町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 日程第19 議案第71号 平成23年度三朝町国民宿舎事業決算の認定について
- 日程第20 議案第72号 三朝町基金条例の一部改正について
-

本日の会議に付した事件

(質 疑)

- 日程第1 議案第53号 平成24年度三朝町一般会計補正予算(第3号)
- 日程第2 議案第54号 平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第3 議案第55号 平成24年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第4 議案第56号 平成24年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第5 議案第57号 平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第6 議案第58号 平成24年度三朝町財産区特別会計補正予算(第1号)
- 日程第7 議案第59号 平成23年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第8 議案第60号 平成23年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第9 議案第61号 平成23年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第10 議案第62号 平成23年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第11 議案第63号 平成23年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第12 議案第64号 平成23年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第13 議案第65号 平成23年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第14 議案第66号 平成23年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第15 議案第67号 平成23年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第16 議案第68号 平成23年度三朝町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第17 議案第69号 平成23年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第18 議案第70号 平成23年度三朝町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 日程第19 議案第71号 平成23年度三朝町国民宿舎事業決算の認定について
- 日程第20 議案第72号 三朝町基金条例の一部改正について

出席議員(12名)

- | | |
|------------|-------------|
| 1番 清 水 成 眞 | 2番 藤 井 克 孝 |
| 3番 吉 田 文 夫 | 4番 福 田 茂 樹 |
| 5番 遠 藤 勝太郎 | 6番 平 井 満 博 |
| 7番 松 村 修 | 8番 横 木 文 雄 |
| 9番 知久馬 二三子 | 10番 山 田 道 治 |

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 ————— 石井秀己 主任 ————— 布広久美子

説明のため出席した者の職氏名

町長	—————	吉田秀光	副町長	—————	森脇光洋
会計管理者	—————	山根智美	総務課長	—————	朝倉 聡
財務課長	—————	大村哲也	税務課長	—————	石原伸二
企画観光課長	—————	松浦弘幸	農林課長	—————	岩山靖尚
町民課長	—————	山根猛昭	建設水道課長	—————	早苗睦巳
健康福祉課長	—————	前田敦子	総務課参事	—————	吉田弘幸
危機管理課長	—————	松原茂隆	農業委員会事務局長	—————	真嶋峰和
教育委員会委員長	—————	山本邦彦	教育長	—————	山口 博
教育総務課長	—————	遠藤英臣	生涯学習課長	—————	平井文彦
生涯学習課参事	—————	松原照宗	農業委員会会長	—————	山本雅之
代表監査委員	—————	和泉澤吉	国民宿舎事業管理者	—————	知久馬孝紀

午前10時02分開議

○議長（牧田 武文君） おはようございます。

ただいまの出席議員は12名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。

以上、報告いたします。

議事に入る前ですが、執行部から新聞報道でもありました農林業、大和森林に関する事件について報告がありますので、受けることといたします。

吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 報告の機会を与えていただきまして、大変ありがとうございます。

マスコミに対しての公表等の状況については、後で副町長から報告をいたします。

昨日、本件についての事業請負当事者である大和森林株式会社の松原正記社長が午後5時を既に回っていたと思いますが役場へおいでになりました。私も5時半からは用事を持っていましたが、在庁しておりましたので町長室において面談をいたしました。松原社長は、大変申しわけなく思っていますということでございました。

なお、請負に要した補助金について、全額返還の意向を示されましたので、皆さんにこの場をおかりして報告申し上げる次第でございます。

以上、報告します。

○議長（牧田 武文君） 森脇副町長。

○副町長（森脇 光洋君） それでは、当該事業につきましての経過報告をさせていただきます。

当該事業は、平成23年度三朝町緑の産業再生プロジェクト事業でございます。この事業につきまして、先ほど町長が話しました事業者よっての不適切な事業施工があったということでございます。

事業の内容でございますけれども、三朝町の加谷地内約60ヘクタールの除間伐をするというのがこの事業の内容並びに目的でございました。事業施工者は、先ほどございましたようにいわゆる実施主体、そして補助金を受けた事業者でございますけれども大和森林株式会社で、これは本社が島根県松江市にある会社でございます。補助金額は1,500万円、そして補助率につきましては10分の10、県から町に入りまして、町が補助事業者に補助金を支払うというふうなシステムの補助金の制度でございます。

不適切な事業内容でございますけれども、地元の了解が得られずに、いわゆる加谷地区でございますけれども、除間伐を実施していない区域があるにもかかわらず、虚偽の実績報告書を町に提出して補助金の全額1,500万円の交付を受けたということでございます。

こういう事実の発覚の経緯でございますけれども、8月の20日に中部総合事務所の農林局の方から、この事業につきましてどうも未実施の箇所があるではないかというふうなことが町の方に連絡が参りました。

県がそういうふうなことをなぜ見つけたかというふうなことでございますけれども、同じ地域におきまして、作業道の事業につきまして県の方が当該事業者に対して補助金を出しているというふうなことがございましたので、その現場確認の中でこういうふうなことが、してないではな

いかというふうなことがわかり、通報を受けたというふうな経緯でございます。

町の対応でございますけれども、8月22日に町と県と一緒に現地踏査を行いました。そのところで、加谷集落が所有されている区域につきまして事業がなされていない。さらには、そのほかの区域につきましても計画どおりに事業がなされていないかというふうなことが、概況でございますけれども確認をしたところでございます。

このことを受けまして、8月の27日に当該事業者の幹部を町の方に呼びまして、そこで説明を受けました。説明を受けたところ、事業者の幹部の方は確かに事業を実施していない区域を含めて実施報告書を提出していたということを認められました。

こういうふうな事実を踏まえて、9月の6日にこの事業に関する補助金の交付決定の取り消しということを当該事業者に対して通知をいたしました。あわせて、補助金の返還請求についても考えているというふうなことも相手方には伝えました。

こういうことにつきまして、9月の10日、今週の月曜日でございますけれども、マスコミの方に資料提供して概況を説明したところでございます。以上でございます。

日程第1 議案第53号 から 日程第20 議案第72号

○議長（牧田 武文君） お諮りいたします。本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。議事の進行上、この際、日程を変更して日程第1から日程第20までの20件の議案を一括議題といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、この際日程を変更して、日程第1から日程第20まで、すなわち議案第53号から議案第72号までの20件の議題を一括議題といたしたいと思っております。

これより質疑に入りますが、質問される方は議席番号を言って大きな声で手を挙げていただきたいと思っております。執行部の方も、もたもたもたもたせんように手を挙げてもらいたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

そういたしますと、議案第53号、平成24年度三朝町一般会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

○議長（牧田 武文君） 杉原議員。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 歳入の決算書の11ページ、12ページでございますが、町税…
…（「補正予算」と呼ぶ者あり）

○議長（牧田 武文君） 補正だけ、今。いいかな。なら、後でまた。

6 番。

○議員（6 番 平井 満博君） ちょっと所管ではありますけども、22 ページの町有財産の土地購入費という部分ですけども、保育園用地とこども園の用地ということですけども、以外の土地も購入されるということですけど、その使用目的というもんはあるでしょうか。なぜ全部買われるのか、そこをお聞きしたいです。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） ただいまの土地購入費、なぜ全部購入するかということでございます。

これは三朝町土地開発公社が所有しております土地で、ここの部分がふるさと健康むら用地ということの目的で取得した経緯がございます。それで今回、つけかえ道路用地として当該部分が町の方にある。それから、こども園用地関係地としてあるということでございます。

土地開発公社で今保有しておりますけども、現実的には借入金でその部分の利息を払っているというような状態でございます。ここの部分の利息の軽減といいますか、ということも考えて、現在のところはっきりした部分の活用という部分はまだ立っておりませんが、この土地の塩漬け状態を解消するといったような目的で、このたび取得させていただきたいとするものでございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

〔質疑なし〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し進行いたします。

議案第 54 号、平成 24 年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、議案第 55 号、平成 24 年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 56 号、平成 24 年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑

ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第57号、平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第58号、平成24年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第59号、平成23年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について、まず事項別明細書の歳入の町税から手数料の農林水産業手数料まで、11ページから20ページまで、質疑ありませんか。

11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 先ほど、済みませんでした。

11ページ、12ページに町税並びに固定資産税等、歳入の項目があるわけですが、特にその中で固定資産税等の不納欠損、収入未済額等、相当な金額が上がっておるわけですが、特に固定資産税の法人、個人のこの内容、内訳のあれがわかたらお聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 石原税務課長。

○税務課長（石原 伸二君） 固定資産税の現年課税分の調定額の件数でございますが、3,632件ございまして、不納欠損が6件で収入未済額が73件ございます。ただし、その中で法人、個人という把握は現在しておりません。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） ちょっと把握はしてないということはどうなんだろうかね。非常に固定資産税等の収入の未済額が4,200万からの金額が上がっておるわけですが、非常に今こういった税の未済という、この状況は景気の動向等に非常に敏感に反映される一つの結果の数字ではないかと思っておりますけれども、この辺の認識について町長はどのように考えておられますか。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 議員お説のとおり、非常に景気の回復感がございません。そういう中での納税について努力をしているわけでありますが、納付の状況等については個人面談等を行いながら、それぞれの方のお気持ちにできるだけ沿うような方向で対応していくという考え方で進めておりますので、今のこの状況の中で非常に厳しい状況ではありますが、なお一層面談の状況を厚くしながら努力をしていかなければいけないと思っているところでございます。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 今、町長がおっしゃいましたけども、特に税の徴収については市内でできないあれは広域のあれに出すわけですけども、毎年その広域の方に出すその手数料といえますか、そういった額と要するに実際に収入を得た額というのは毎年同じような金額になっているという。それはしないよりは広域の方にもお願いしてちゅうあれはわからんわけではないですけども、市内においての人脈というのが一番やっぱり町民に対してのあれではあるんじゃないかと思えます。ですから、広域に出せばどうしても威圧感を感じて、かえってもう何度も何度もこうやって、要するに個人の気持ちの部分で納税に対する意識というものも大きくこの広域に出したことによって変化をしているんでないかなと。こんなふうに私は感じる部分もありますんで、税の徴収のあれはやっぱり町が一つの大きな底辺にそのあれを持ってこないと、なかなかお互いの信頼関係がないと納税に対する気持ちはなかなか変化がないのかな。こんな感じを持っていますので、一層のやっぱり努力を市内の方でしっかりと今以上取り組んでいくという方向をお願いしたい、このように思います。よろしく申し上げます。

○議長（牧田 武文君） 答弁要りますか。

○議員（11番 杉原 憲靖君） いいです。

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、ほかに。

9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） 私は、18ページの民生費の負担金で保育料等が滞納になりますけれども、どのような状況になっておるのか。それと、今後どういうふうにしてこの徴収していくのかをお知らせ願いたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 猛昭君） 保育料の滞納の件でございますが、現在一番大きい方が100万近い方がお1人おられて、その方も含めまして分納の誓約をいただいて、順次納めていただいとるのが現状でございます。

それに加えて、子ども手当、今度は児童手当ということでスタートしておりますが、その

手当の出る時期におきまして個人さんと面談をして、手当でお支払いいただくというふうなことも含めながら、お支払いしていただくように努めておるところでございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） この保育料等も一度滞納になれば大変だと思いますし、これほど皆さんが本当に苦しい生活の中で大変だと思いますけども、計画的にやはり徴収するようにお願いしたいと思います。この件については終わります。

○議長（牧田 武文君） 答弁はいいですね。

○議員（9 番 知久馬二三子君） はい。

○議長（牧田 武文君） 9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） もう一つは、同じように住宅の使用料ですけども、現年度分が滞納になってますけれども、何件ぐらいのそのあれがあって、どのようにその徴収しておられるかお聞かせください。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 猛昭君） 住宅の使用料の滞納についてでございますが、これも保育料で先ほど申し上げましたように、各滞納しておられる個人の皆さんと直接面談をして、分納の誓約をして納めていただいているというのが基本的に今の現状でございます。

基本的には、条例にもございますが、3カ月の滞納があれば退去していただくようなこととなりますよというふうな条例の規定もございますので、その辺のところを分納の誓約をされない場合はそういう手続に入らせていただきますよということを含めながら、納めていただくようにしておるところでございます。

現年につきましては、ちょっと済みません、何件という件数は持っておりませんが、現年で一番滞納しておられる方では3カ月分の方が最高でございますして、順次納めていただくような努力をさせていただいております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（9 番 知久馬二三子君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、国庫支出金及び県支出金について、19ページから30ページ、教育費委託金まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、財産収入から町債について、29ページから42ページまで、質疑ありませんか。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 23年度に行いました小学校の改修事業において、蛍光灯の設置数の違いということで返納金を雑入に入れるちゅう話でありました。それが今、項目を見ますとどこにも書いてないのでありまして、多分雑入に全部まとめて入っておるんだらうという認識をしとるわけですが、これはごっつい問題になってもめた案件については、やっぱり何ぼ入ったというのが備考欄に書かれて示されるべきだというふうに思うわけですが、一体幾ら入ったですか、ちょっと聞きたい。

○議長（牧田 武文君） はい。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） ちょっと資料を確認します。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 決算説明資料の157ページに記載いたしておりますが、業者返金が89万1,450円ございました。22年度でございます。それで23年度決算で39台の照明差ということで、47万1,000円国県に返納いたしておるということでございます。

なお、決算書につきましては、90ページのところに支出部分で記載いたしておりますので、よろしく願いいたします。（発言する者あり）

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 業者から返金が89万1,450円入っております。（「どこに書いてあるだ」と呼ぶ者あり）

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） どこに入っておるかという御質問ですが、これは遠藤議員のおっしゃられたとおり諸収入、雑入、雑入の中に入括して89万1,450円というものが入っておるところでございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） やっぱりこういう問題はちょっとはっきりと備考欄でも書いてもらうように、今後気をつけていただきたい。終わります。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 40ページのクマよけ鈴販売代金ですけども、これは町民の方々に売られた代金ですか。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 町民の方で、1戸当たり1つということで限定で販売いたしました。町民の方対象に、1軒に1個ということ限定に販売いたしました。

○議員（1番 清水 成真君） 1つ幾らですか。

○農林課長（岩山 靖尚君） 1つ500円という価格でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（1番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、歳出の総務費、43ページから……（「ちょっと済みません、29ページ」と呼ぶ者あり）

じゃ3番、認めますので。

○議員（3番 吉田 文夫君） 認めてください。

○議長（牧田 武文君） はい。

○議員（3番 吉田 文夫君） あちこちありましたんで。

○議長（牧田 武文君） 次から気をつけてくださいね。

○議員（3番 吉田 文夫君） はい。29ページの文化財の調査費、三仏寺に……（「これ補正じゃないの」と呼ぶ者あり）補正です。

○議長（牧田 武文君） 補正はもう済んじゃった。

○議員（3番 吉田 文夫君） 補正の方や。後やね。（「いや、補正はもう大分前に済んじゃった」と呼ぶ者あり）

○議長（牧田 武文君） 次に、歳出の総務費、43ページから58ページ、監査委員費まで、質疑ありませんか。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 50ページ、防災諸費のところ災害時要援護者避難支援事業329万円。制度の概要と説明資料の事業の概要をしてみるんですが、これは要は登録するだけなんですか、その支援者を登録するだけの事業ですか、これは。そこをちょっと確認したい。

○議長（牧田 武文君） 松原危機管理課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） 23年度においては登録をするということで、1,260名ほどの該当者の中で登録できたのは385名。これを現在業者の方に委託をして、それで把握をいたしております。

それは今後については当然その加入のときもそうですが、本人の同意を得なきゃならないということがまずございます。したがって、個人情報ですので、それが得られたのが385名。1,200名おられるわけですから、そのあい差をいかに埋めていくかという、それが事業が残ってまいります、これは随時進めてまいります、消防団を中心に。

これを最終的には消防団、少なくとも各班の班長、それから民生委員、できれば区長、その集落にはこういう方々がおられますということで、共有するそういうものをつくっていくということで考えております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 制度の概要のところ、関係機関へ円滑な避難や救助を実現するところはないですか。説明資料の中に。これはどうするんですか。今の話だったらただ共有するだけ、実現するという事にならないんじゃないですか。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） 共有して、実現をしております。

○議長（牧田 武文君） いいですか。

○議員（4番 福田 茂樹君） 終わります。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 2件ありますけど1件目ですが、決算は48ページ、説明資料は20ページであります、交通安全は非常に一生懸命やっておられると思いますが、飲酒運転の検挙者6名というのは非常にびっくりした数であります、町長、どういう所見を持っておられますか、6名というその数という飲酒運転の。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 非常に残念であります。ワーストワンでありました。鳥取県で一番悪いという町になっております。今年度はそれを挽回すべく、一生懸命頑張っているところでございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（1番 清水 成真君） はい。もう1点。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） 決算書の50ページで説明資料は45ページであります。外国人の観光客誘客事業105万8,000円ですが、こちらの方に来られて多分宿泊されたような感じだと思いますけども、どのような感想があって、それで今後どのように発展させていけるのかということをちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 外国人観光客誘致事業でございますが、この事業は国の臨時交付金を使ってやりました事業で、観光協会が実施したものでございます。

これにつきましては、特に外国人のモニターツアーを実施をして、三朝温泉街それから三徳山の中で御意見を聞いたということでございまして、外国人につきましては県内の外国人、いわゆる鳥取大学だとかそういった方の留学生を含めた方に韓国5名、それから中国5名という形でモニターとして参加をしていただきました。

アンケートの内容は多々ありますが、まずは温泉街を歩かれたときのいわゆる表示、原語表示がどの部分がよくてどの部分が足りないだとか、それから温泉に入ったときに、外国人の方が入浴をされたときにどういった案内が必要だとか、それから三徳山に行ったときも同じようなことで、もう少しパンフレットの中に紹介をしてほしいだとか、そういったところでお聞きをしたところでございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（1番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） 9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） 私は、44ページの一般管理費の一番下にあります役務費が167万ほど不要だったんですけども、どういうことでこれだけ不要になったか教えてください。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） ちょっと今詳細がわかりませんので、後日調べて……。 （発言する者あり）

○議長（牧田 武文君） しばらく休憩いたします。

午前10時32分休憩

午前10時35分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 役務費が不用額の件ですけれども、役務費というのはこれは郵券代とか通信運搬費というそういうふうなものなんですけれども、これにつきましては総務課に予算組んでおるんですけれども、それ以外に各種の事業課とかで予算を組んでおりまして、それで年度末にその郵券代、通信運搬費について総務課の方で組んでいる郵券代以外に事業課の方に振りかえたということでございまして、それで不用額が生じたということでございます。よろしくをお願いします。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（9番 知久馬二三子君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 50ページ、地域振興対策費の中の下から2つ目、三朝町地域運営組織活動支援事業37万4,000円。竹田地区に出されているバスの会の支援事業だと思えますが、この実績と検証結果、そして今後についてはどういうふうに見えるのか。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 竹田地域協議会に出しまして、これは生活交通対策について支出したものでございます。3カ月間、6月から8月まで試験運行いたしまして、いろいろ検証しましたけれども、本格運行には今至っていません。資金的なこととかいろんなことがあるようでございますが、今後いろんなことを考えながら、またそういった生活交通の弱者救済とかそういったことの観点から、地域協議会としてとらえていくというようなことでございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） いや、実績がどうだったかという部分を聞いておると思います。

○議長（牧田 武文君） 地域づくり参事、吉田弘幸君。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 実績でございますが、延べ36名利用で、実人数としては12人でございます。

以前にアンケートで聞き取りをしまして、58人のうち試験運行の送迎を利用したいという方と将来は利用したいという方を合わせて32名で55%程度あったんですが、なかなかそのバスの乗りかえとか足が痛いとか2日前に申し込みしなければいけないとか、そういったようなことがございまして、利用人数がちょっと少なかったと思います。以上です。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） いろいろ考えて、今後も検討するという答弁がありましたけども、それは地域協議会がするんですか、それとも役場のあなた方がしていくんですか。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 主体的には地域協議会でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） 決算書の 5 4 ページですけども、そのやっぱり賦課徴収費の役務費がここも 1 7 0 万ほど余っております。これについてもどのような形で、これだけ余ったのか教えてください。

○議長（牧田 武文君） 石原税務課長。

○税務課長（石原 伸二君） 調べさせていただいて、後で御報告させていただきたいと思います。大変申しわけございません。

○議長（牧田 武文君） ちょっとしばらく休憩します。その間に、5 分間休憩しますのでその間に調べてください。

午前 1 0 時 3 9 分休憩

午前 1 0 時 4 2 分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

ほかに。

2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） 決算書の 4 8 ページ、上から中ほどちょっと下の魚の豊かな川づくり事業費 1 2 万 2, 0 0 0 円。これだけ魚等が川でも少なくなってる中で、どのようにこの費用を使われているのかをお願いします。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 魚の豊かな川づくり事業費でございますが、水と魚に親しむ機会を促進するために魚のつかみ取り体験ということで、2 2 年度までは町でないとできなかったんですが、2 3 年度は町以外でもできたので、三朝町とそのほか地域協議会等で取り組んでおられますが、ここに上げていますのは校区順になってまして、2 3 年度の件については西小校区が主

体として取り組んだということで、町がそういったヤマメの放流等を行って、体験のつかみ取りを行ったということでございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） 魚の豊かな川づくり事業で、つかみ取り等ですかいね。というのがね、今、川でも工事等がされとる中で、清流ばっかしつくって豊かなその川づくりで魚が休む場所等がないために、ウとかも含めて、だけそのつかみ取りは豊かな川づくりとはまた考え方が違うんじゃないかなとは自分は思いますけどね。だからもう清流ばかりでなしに、そういう事業を含めて魚を育てることも考えられたらどうでしょうかね。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） この事業は県の財団法人の基金を使ってやっておりまして、この中には3本立ての事業がございます。その中の一つのふれあい事業というので対応しているんですが、先ほど議員御指摘のとおりその3本の中にはほかに、三朝町は対象にならないんですけども、漁協等で増殖促進事業とか普及啓発事業とかそういった事業で取り組んでおられる方、漁協等もでございます。

三朝町の場合につきましては、その中の一つのふれあい事業ということで、その事業の趣旨ののっとって体験放流とかつかみ取りということをやるということになっておりますので、それに基づいて事業を実施しております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） 今、3つの項目を上げられてましたけど、魚を育てる意味も含めて、要望なり予算等含めてやっぱり金額をあれされて、つかみ取りだけじゃなしに、そういう体験だけじゃなしに、やっぱり育てる意味も含めて再度検討されたいかがでしょうか。以上です。

○議長（牧田 武文君） 答弁要りますか。

○議員（2 番 藤井 克孝君） ええ、答弁をお願いします。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） その育てるということも、ちょっとこの事業の趣旨の中で取り組むものにつきましては、そういった観点も議員御指摘のとおり大事だと思います。そういった体験とか子供たちが自然に触れ合う機会が少ないということで、そういったことも加味しながら今後、今年度からは町で取り組みませんが、地域協議会等で取り組んでいますから、そういったことも加味しながらということで、そういった事業を実施していったらと思います。以上です。

○議長（牧田 武文君） ほかに。よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、民生費、57ページから66ページ、子ども手当費まで、質疑ありませんか。

9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） 済みません、また同じやなことなんですけども、60ページの上の方からあれしまして扶助費ですね、扶助費が1,800万ほど余ってるわけなんです。予算と決算上はいろいろ出てきますけども、この内容をちょっと教えてくださいませんか。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 60ページの扶助費でございますが、これは障害の自立支援の障害がございますが、それ全般の扶助費ということでここに相当額が上がっておりますが、障害の方、予測的にどれくらいの方が申請をなさるかというふうなことがわかりませんので、当初予算としては枠組みとして持っているというふうなことでございます。障害全般に係る扶助費でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（9番 知久馬二三子君） 結構です。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 老人福祉費、62ページ、高齢者等雪下ろし支援事業補助金、8名という決算でありました。急遽行われた事業。この8名というのをどういうふうに評価されるのか。少ないのか多いのか、満足されたのか。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 高齢者雪下ろし事業でございますが、これは当初予算では20世帯を見込んでおりました。住民税非課税世帯ということで御案内もしながらですが、12月の議会からそれから実行までに日にちが少なかったという点は、PRという辺で今年度そのあたりを検討しなければなりません、NCN、町報、それから無線、そういうものを通してPRをさせていただいたことと、それから業者に関しましても情報提供させていただいたというふうなことでございます。

1年目でございますので、そのあたりの周知というあたりを2年次、今年度ですが、検討してまいりたいというふうに思っております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（4番 福田 茂樹君） はい、結構です。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 同じく老人福祉費の説明資料の140ページ、介護基盤緊急整備事業に6,000万のお金をあれしてあるわけですが、その説明の中に認知症高齢者の増加というこういった条項が入っておりますが、年々認知症のそういった人たち、特に65歳以上の中でもそういった人口は年々ふえると思うんですが、具体的にこの施設に対しての補助を出しているわけですが、具体的にどういう事業が中心のあれなのか、それをちょっと求めたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 介護基盤緊急整備事業補助金でございますが、これは認知症高齢者の方々のグループホームでございます。2施設。1施設上限が3,000万というふうなことでございますが、その説明資料に書いてございますが、愛恵会（グループホームなの花）、平成23年12月開所でございます。それから福生会につきましては平成24年3月というふうなことでございまして、それぞれ9人の1ユニットでございますので、認知症の高齢者の方々がグループホームに入所される方、この補助金では18名の方が入所なさっているというふうなことでございます。

なお、グループホームは在宅生活というふうな視点での施設でございます。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 今の課長の説明、18名の認知症と思われるそういった人、人数的には18名なんですか。認知症として掌握されている人数はそういう人数でええんですか。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） ただいま御説明申し上げましたのは、18名は入所なさっている方というふうなことでございます。

そのほかどれほどの認知症の方がいらっしゃるかというふうなことでございますが、介護保険特会の方で説明資料の中にも載せておりますが、認知症というふうなことでは書いてはございませんが、介護度の重たい方、3、4、5のあたりですね、そのあたりの方にも認知症の方がいらっしゃるというふうなことで御理解をいただけたらと思います。以上です。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（11番 杉原 憲靖君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、衛生費、65ページから70ページ、じんかい処理費まで、質疑ありませんか。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 70ページの中段の中部ふるさと広域連合負担金、じんかい処理ということで、説明資料が130ページの下段にあるわけですけれども、ごみ処理経費と最終処分場の建設経費ということで2,400万ぐらい出とるわけですけれども、これその処理代と最終処分場経費何ぼあるかちゅうことと、それからもう1点は本泉地内につくられた生ごみ処分場の建設当時に、ごみの減量化を図って広域連合の負担金を減らすという話の流れにおいて、実際に四、五年たっと思えるんですけども、減っておるのかという、2点目。

それから、3点目は、今、生ごみ処理の肥料にして販売するという話になっと思えるわけだけでも、そういうののあれが全然情報が議会には伝わってこんという、これはどういう流れ、観光協会の方の決算に上がってきて、町は関係ないちゅう立場でしょうか。質問。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 猛昭君） ごみ処理経費の最終処分場の負担金と、それから実際にごみ処理にかかった経費の分につきましては、ちょっと済みません、資料を持ってきてませんので、しばらく時間をいただいております。

2番目の金額の部分につきましては、循環型プラントをつくった時点ではごみの処理量は減って、多少町の負担金はその減った量に比例して減ったということには、ほかの町村におきましてもごみの減量化も図られておるところでございまして、その比例してということにはなっておりませんが、その運用した時点ではごみの量は減りましたので、そのときには比例した額にはなりません、負担金は多少なりとも減ってきておるところでございまして。

ごみの量については、ごみを出す量というのは全体的には微増といえますか、少しずつふえていくというのが現状でございまして。以上でございまして。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） リサイクルプラントからの肥料について御報告をさせていただきます。

堆肥については2種類ありまして、1キログラム袋が23年度で726袋、40リットル、大きな袋が192袋でございまして。

報告については、毎月協会の方から当課の方に数字をいただいております。全体の報告につきましては、定期的に議会委員会という報告はしていませんけど、観光協会の総会のときに総会資料の中で実績数値を示してありまして、その資料をお渡しをしておりますので、そういうことにかえさせていただいております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 今、企画観光課長の話だと、実績資料を渡しとるといのはだれに渡しとるですか。議員全員に渡しとるですか。

それから、もう1点、今、町民課長の方になるんだけど、初めその建設当時、どこの町村も減量化に取り組むだけえ、うちが減量化したって使用料は変わりませんよという話をした。そしたら全然変わってきますという答弁だった。今の危機管理課長のときだったかいな、その話におれが文句言ったのは。そしたら変わるという話だったけども、実際には変わっとらんでしょ。初年度から2年目は変わったかしらんけど、実際今現実として変わったですか、ごっつい。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 実績数字でございますけど、協会の総会のときに所管の委員さんが出席をされまして、その中で総会資料をお配りしておりますので、そういう認識をしておりました。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 山根課長。

○町民課長（山根 猛昭君） 議員御指摘のとおり、全体的に減量しております。割合という面で見ますとそういうふうな形で、そのプラントで処理したことによって町の分については多少減ってますけども、先ほど申し上げましたように全体的に皆さん努力されとるとい面もありまして、全体の処理の負担の中で出した量によるところの負担割合ということになりますので、その比例して大きく減ったというふうなことにはなっていないというのが現状でございますし、それから減量に努めておりますが、全体的にごみが出る量というのは少しずつふえるような傾向にありますので、最終的にその処分の総額なりが少なくなるというふうなことに至っていない。負担金というのは、ほとんど微増しているというふうな状況にあるというふうに理解しております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 3 回目です、5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） だけえ要するに、生ごみ処理施設をつくったけども大して役に立って、役に立ってちゅう言い方は悪いけど、使用料に対しては軽減されとらんということですね、やっぱり。どこの町村も減量化に取り組んどる。出したのと、それで全体の経費を賄わないけん

けえ、平等割みたいなのがあって何ぼか出さないいけんという流れにおいたらね。だけえごっつい言われたほどの成果はないということだと思っすわ。

それで、もう一つまた課長に聞きたいけど、肥料代はその建設などの償還金に充てるちゅうやな初めの説明がありましたな、昔。当時のころに。観光協会が肥料を売って、その代金を償還金に充てるちゅう話があった。それは実際にそういう格好になっとるですか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） それにつきましては、実際には償還金に充てるような内容になっておりません。修繕費とかそういった経費が当初計画よりかさんできております。その辺については、経営委員会の中で将来のあり方も含めて検討するようしております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） しばらく休憩をいたします。再開を11時15分。

午前11時00分休憩

午前11時13分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

先ほどの知久馬議員の質問に対して石原税務課長が答弁しますので、よろしくお願ひいたします。

石原税務課長。

○税務課長（石原 伸二君） 先ほど知久馬議員から、賦課徴収費の役務費について不用額170万有余がどういったことかということでございますが、当初予算におきまして従前の課題の納期で見えておりましたが、納期が減ったことにより通信運搬費の郵券代等が減少したものでございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（9番 知久馬二三子君） はい。

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、先ほど遠藤議員に対して山根課長の答弁。

○町民課長（山根 猛昭君） ふるさと広域連合のじんかい処理費の負担金の内訳ということで、ごみ処理費と最終処分場の建設費の内訳でございます。

ごみ処理費が2,121万8,000円でございます。最終処分の建設費の負担金につきまし

ては、327万9,000円でございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） はい。

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、次に農林水産業費、69ページから78ページ、大規模林道事業費まで、質疑ありませんか。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） ここの72ページですけど、地域特産物育成事業、これどういう事業だったんですか。720円使われていますけど。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 申しわけありません。すぐちょっと調べて、連絡させていただきます。申しわけありません。

○議長（牧田 武文君） 再々休憩とるのも先行きしませんので、午後のかかりということでしょうか。山田議員、いいですか。

○議員（10番 山田 道治君） 結構です。

○議長（牧田 武文君） じゃ午後のかかりにお願いします、課長。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 72ページの下段の方に町民農園事業費、説明資料85ページ。まず、この原材料費の2万3,100円、これは何か。

それから、その町民農園に看板が必要なのかな。借りる人はわかるってだけえそれでいいんじゃないかという認識ですけど、これ町民農園だちゅうことを町民に知らせるために看板が必要だったのかどうなのかというのをちょっと答弁願います。

○議長（牧田 武文君） 真嶋農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（真嶋 峰和君） まず、原材料費でございますが、周辺の農道についても入植者の利用があります。これを維持管理するために、真砂とか砂利を購入して農道を整備したというようなことでございます。

それと看板の設置につきましては、以前、当初というんですかね、造成したやなころには看板はあったんですけど、今回予算計上いたしまして町民農園の入り口に案内ちゅうんですかね、それを設置させていただきました。今まで過去に入植者、全区画の入植者ちゅうことでなかなかいろいろPRしながらやってきたんですけど、まずどこにあるかという入り口を表示することによっていろんな人の目に触れて、実際その町民農園へ行かれて比較的評価がよかったということで、

24年につきましては全区画入植があったということで、成果があったんじゃないかなという思いをしております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 76ページ、森林国営保険料というのが76ページの下段の方にあるわけですね、222万5,249円。これはまず第一にどこの、町行造林か何か、どこの山にかけてあるか。それで面積が何ぼか。それでこれは掛け捨てかそうでないのかということと、それからこの保険を掛けることで最高限度額の保障は何ぼあるのかというのちょっと聞いてみたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） これは町行造林でございます。それで保険金につきましては、掛け捨てということになっております。対象面積といたしましては1,110ヘクタールということで、決算説明資料の79ページの部分に明記しております。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） まだあるが、最高限度額は何ぼ、保障は。

○農林課長（岩山 靖尚君） 保険の保障額ですが、9億9,000万ぐらいでほぼ10億近い金額になります。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） これずっと何年前から掛け捨てされとるかわからんだけど、今までに被害があってもらった金額ってどのくらいがあるですか、最高。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） ずっと過去の方はちょっとわかりませんが、去年の台風12号におきまして大谷の町行造林の部分が崩落いたしまして、その部分で保険金が入っております。これは額はちょっとまた後ほど報告させて……（発言する者あり）

済みません、5万幾らだったと思います。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 今の面積ですね、1,110ヘクタール。これ町行造林全部の面積なんですか。それとも掛けてある面積ですか。

言い方が悪かった、町の町行造林の面積が何ぼあって、この1,110ヘクタールちゅうのは

全部かその一部か。それでこれ何億だかって言いなっただけど、保障が、これ全部掛けないけん現状。例えば急傾斜地でこれがどれぐらい生じるとかという被害が及ぶとこだけ掛けるちゅうようなことはせずに、全部掛ける意図は何か。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） この保険ですが、国営の保険になっておりまして、それで面積は1,110ヘクタールというのはずっと過去から引き続いた数字でございまして、先回ちょっと委員会の後、課内でちょっと協議をいたしまして、今、財産林整備の計画の中で面積の方の確定といたしますか、その辺の面積を確かなものという確認を現在しておりまして、その面積に応じて面積は若干減るではないかという話をしておりまして、実質そういう面積に今後変更していきたいと考えております。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 町行造林の面積は何ぼあるだ。

○農林課長（岩山 靖尚君） 町行造林の面積は、一部を除き豊かな森林資源として蓄積されている面積が1,110ヘクタールということで、ほぼこの面積だと把握しております。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） それでそれ必要があるかどうかというのは。全部掛ける必要があるかどうか、さっき言った。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 町行造林の山につきましては、国からの指導等もあり必要であると思っております。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 3回目だよな。

○議長（牧田 武文君） もう1回ある。（発言する者あり）

○議員（5番 遠藤勝太郎君） もう1回あるということだろ、局長。おれは一遍は座って言ったけど、漏れとるといのは。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 済みません、先ほど町行造林の面積のことですが、23年度末現在、所有分が19.5ヘクタール、分収造林1,226.8、合計いたしますと1,242.7ということで、全体の面積は1,242.7あります。しかし、保険に入っている部分は1,110ヘクタールということでございます。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 最後だな。

○議長（牧田 武文君） 最後です、5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） さっき全部掛けないけんだかと言っって、ちいと数が合わんじ

ゃないかいな。それでこれは国が調整というか、それを掛けた方がええですと指導を受けてせな
いけんちゅうもんですか。

それで、今、山の木の材もさんざん安なとってね、本当で9億何ぼももらえる保証がある
のかなということもあるけど、それは契約でちゃんと、何ヘクターが例えば焼失したときに
はこれ出ますちゅう保証があるわけですか。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 面積につきましては、一部を除きという部分そのあい差の部分だ
とっております。

それで内部でちょっと話もするんですが、例えば全焼、全部山がなくなるということはちょっ
と考えられませんが、この保険というのは国の一応保険ということで町の財産でもある
この優良な木といいますか、木材の価格等が上がりませんが、やはり保険を掛けて災害、ま
た火災とかそういうものに対応するというのでお願いしたいと思います。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 72 ページの一番下であります、鳥獣被害であります、先日、
私、三徳地区の田んぼをちょっと見て回りました。防護さく、電気さく、ワイヤーメッシュ、大
分整備されているなという感想を受けております。

そういう中で、イノシシの被害も相当あるわけですね。防護さくをしているにもかかわらず、
ひどいところは田んぼの半分ぐらいがもう倒れているような状態で、非常につらい光景を見たわ
けですけども、持ち主の方に聞くと、もう何かつくるが嫌になったというような声を聞くわけ
です。そうすると荒廃農地がどんどん広がる原因にもなるわけですし、そういうことにつながると
いうことを農業委員会長さん、どういうふうに思っておられますでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 山本農業委員会会長。

○農業委員会会長（山本 雅之君） 今の鳥獣被害については、先般、農業委員会として全町一斉
のパトロールをいたしました。その時点では、町内で二、三カ所の被害があったという実績報告
は受けておりますが、その後かなり出てきたというのはあります。ですから、年々今の電さく
でもきかない状態のイノシシというんですか、習性がどんどん出てきてきかなくなったものに対
して、もうやめたという意見が出てきたのも確かに聞いております。

ですけど、今現在でなし得るやり方としましては、町でやってますスチールフェンスですね、
あの事業でやって、その上に電さくという二重の防護みたいな形が今の最良の形ではないかと思

って、それを今進めるのが最善な方法だとは思っております。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） この緊急総合対策事業費という名目なのですが、この事業費の中には例えばそういう被害があった方々に対しての補償みたいなものは充ててできない事業費なんでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 鳥獣被害緊急総合対策事業ということで、23年度は1,216万円ほど支出しております。これはあくまでも農業被害に対して侵入防止対策ということでの事業でございます、ワイヤーメッシュの費用、また電気さく等の購入費用でございます。それで設置につきましては地元の方が設置をされるということになっておりまして、そういう被害につきましては共済の方での対応というようなことになります。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） いろいろと聞くわけでございますけども、なるべくそういうような指導を今後もしていただけるようお願いしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 答弁いいですね。

○議員（1 番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） 2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） 決算書の76ページ、ナラ枯れ被害対策費と竹林整備地域活動支援補助金……（発言する者あり）1つわてか。なら、最初にナラ枯れ被害の分。説明資料が76ページですね、267万7,500円。これ業者と、またどのようにナラ枯れ対策等をされているのかお伺いします。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） ナラ枯れ対策、ナラ枯れ被害木駆除ということで、入札で業者を選定いたしまして、ナラ枯れの木に薬剤を注入をしております。主に行った部分は、三朝、小鹿、三徳山、中の谷でございます。664本ほどナラ枯れの駆除をしております。（「業者名は」と呼ぶ者あり）

業者名につきましては、大和森林が行っております。（発言する者あり）

済みません、業者名ですが、大和森林と言いましたが、23年度は中本建設が行っております。失礼いたしました。

○議長（牧田 武文君） 2 番。

○議員（2番 藤井 克孝君） これは補助金を出してるんですけど、これはこちらの方としてはどのように確認されたか、そこら辺をちょっとお伺いします。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） このナラ枯れの業務は委託料ということになっておりまして、業者委託ということで町が発注したものでございます。

確認の方は検査を行っておりまして、業者の写真も1本ずつ駆除の状況、注入の状況等写真と、現地等に行って確認をしております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。もう1回ですよ。

○議員（2番 藤井 克孝君） 最後ですね。

○議長（牧田 武文君） 2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） なら、664本、これはされたちゅうことですけど、これ全部確認された、県と。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 業者の写真等は全部あるわけですが、現地の町の検査につきましては抽出で何番の木というようなことで、番号で確認をしております。抽出してやっております。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 済みません、事業名がちょっとわからないんですが、ナラ枯れ対策の部分なのかどうかもちょうとわかりませんが、昨年ある方がナラ枯れの部分で伐採の同意書をとっていただいたということで、ところがまだ伐採されていないというようなことがちょっと耳に入ったんですけども、これは伐採ではないですね、駆除ということで注入だけですね。じゃちょっとまた違う事業なのかもしれません。済みません、いいです。

○議長（牧田 武文君） 答弁いいですね。

○議員（1番 清水 成真君） 伐採かどうかちゅうこと。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） この委託業務につきましては、薬剤の注入ということで行っておりまして、伐採につきましては松くい松枯れの部分で伐倒処理ということで、衛生木の処理ということで行っております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

5番。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 関連するかもしれませんが、森林景観対策事業、その下の方です、緑の産業再生プロジェクトの下にあるわけですが、これが俵原地区ナラ枯れ被害木の伐採ということで上がっておりますね。これって今、駆除と伐採の今話が出ただけでも、最終的に枯れた分については全部伐採するという事なのか。これ三徳山世界遺産登録で見てくれが悪いで切ったというのか、その辺のちょっと違いちゃうか、考え方ちゃうのをちょっと聞きたい。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） これはあくまでも森林景観の対策ということで行っておりまして、全部伐採ということになりますと費用的な部分もありまして、とりあえず景観上支障になる三徳山の部分とか、特に景観に影響を与えるような部分を優先で実施しております。

○議長（牧田 武文君） 遠藤議員。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 今、そのナラ枯れちゃうのはなかなか駆除的に難しいというような話の中において、薬剤注入したけえこんなはせわないという保証はないと思う。だんだんと枯れる率もふえてきて、その効果的、松くいみたいに空中散布ではあっと全部するのと一本一本するのと、ごっつい手間がかかって大変だと思うし、さっき注入のときに藤井議員が聞かなんだけれども、点々と点在しとるわけですね、そのナラ枯れ病。ばあっと全部一遍に、それは伐採もやったかしらんけど一本一本切ってもらわないけんという条件において、これ業者は森林組合とかちゃうのに委託されておる。さっき中本建設が駆除って言ったけど、今度は伐採は。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 俵原のナラ枯れの伐採につきましては、建設業者のやまびこ興業ということでお世話になって伐採しております。

森林等につきましては、あわせて委託業務ですので見積もり等をいただいて業者決定をしております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

５番。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） ７８ページ、三朝温泉廃油回収業務……（発言する者あり）８０ページまで言っただら。（発言する者あり）８０ページって言わなかった。（発言する者あり）

○議長（牧田 武文君） じゃいいですね、次で。

ほかに。

４番。

○議員（４番 福田 茂樹君） 72ページの一番下、鳥取県ツキノワグマ遭遇回避総合対策事業、説明資料の72ページであります。追払い花火購入、どういう場合にこれを使われたのかお聞きをしたい。どこで保管してあるのか、だれがこれを花火を持ってツキノワグマをこうやってやるのか教えていただきたい。

○議長（牧田 武文君） 農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） ツキノワグマ対策ということで、花火を購入しております。しかし、実際にツキノワグマにはちょっと実際に発射したことはありません。

倉庫の方に一応花火については保管してありまして、実際使用するのは町の職員、またそれこそ発見された方等に話を聞いて、追払うために花火を使うということで御理解お願いしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（４番 福田 茂樹君） 役場の倉庫に置いてある花火を、ツキノワグマを目撃された、例えば神倉であなたのところ。花火を持っていくんですか、それから。逃げちゃいますし、危ないじゃないですか。第一、よくこんな発想ができたと思って、不思議でならない。もう一回答弁をお願いします。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。これ率直に言いならないけんだが、委員会では猿をぼうって言いなつたが。そがに言わんけんおかしいなってくるだ。

岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） それで追っ払いということにもなるとるんですが、捕まえたときなど現地での威嚇に使ったり、そういう部分にも花火を使用するというようなことで購入しております。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（４番 福田 茂樹君） クマを捕まえた実績はあるんですか、去年使ってないと今言われたじゃないですか。威嚇してないでしょ、だってそれは。無理がありますよ。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 23年度につきましては、ちょっと威嚇で花火は使っていませんが、過去にその花火でクマを威嚇したというようなケースがあったようでございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5番。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 項目に上がとらんわけですけども農業関係で聞きますけども、

去年、おいしい米というか特産米のために堆肥散布機を購入されたというふうに思うわけですが、その実績ちゅうか、全然上がってこんわけですけど、これは委託されとるけえ上がってこんのですか。使用料とかなんとかの話だで。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 実績の数量というのはここに上げておりませんが、実際には堆肥散布布ということで町内全域におきまして使用しております。

この実績につきましては、後ほど件数、また面積等をお知らせしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） これは利用料が要するというふうに思うわけですがけれども、どこに出てる、この利用料というのは。

それから、利用料も要るだろうし、例えばオペレーターを使うとオペレーターの賃金等も要るわけだけど、この収支はどこに行くのですか。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 肥料散布につきましては利用組合をつくっております、その中での一応会計の処理ということになっております。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） どの項目にある、これ。組合、どの項目に入っとるだいや。

○議長（牧田 武文君） ちょっと立って質問してもらわな。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） だって答弁がないけえ、一遍立ったたら一遍済んじゃうけえ座って言うだが、足らんところを。

○農林課長（岩山 靖尚君） 利用料等でこの組合を運営しております、この決算部分には上がってきておりません。

○議長（牧田 武文君） 5番。立ちなさいよ。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 3回目かいな。

○議長（牧田 武文君） そうそう。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） どこにならその機械を提供して管理委託されとるですか。（「組合」と呼ぶ者あり）農協。だけそこの組合、今の現実、その機械を使うときにどこに申し込んで、どういう利用方法をすりゃいいですか、あわせて。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 利用につきましては、区長会等でも通知させていただきましたが、役場の方に申し込みをくださいということでの連絡をさせていただいております。

また、あわせてあぜ切り機といますか……。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） そがんこと、あぜ切り聞いてない、利用料。利用料や、そのオペレーターの代金はどがにして払うだいや。だれが管理しとるだいや。組合って何組合だいや。

○農林課長（岩山 靖尚君） 管理につきましては、先ほど言ったように利用者の組合をつくっておりますんでそこで管理をしておるわけですが、町の方で事務局はやっております。その中での会計報告等、総会でやっております、組合の。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） そがな答弁じゃ通らんだらあ。町は、なら金銭的には全然関係ないということかえ。

○農林課長（岩山 靖尚君） 利用料につきましては……（発言する者あり）

○議長（牧田 武文君） ちょっと座ってはいけん、もう終わっちゃった。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 答弁ができとらんだもん、いけんがな。こがな中途半端な答弁で……（発言する者あり）立てんわ、３遍済んだに。

○議長（牧田 武文君） それで終わりだ。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 議長、終わりだちゅうやな言い方はいけんわいな。はっきりとどういうところに委託してどうこうって言ってごしならな。

○議長（牧田 武文君） まあ一応これで決まってあるだけえ、決まりは決まりで。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 組合つくつとるでええだかいや、それで。

○議長（牧田 武文君） それするちゅうと切りがなくなっちゃうで、これで終わりです。

ほかに。

２番。

○議員（２番 藤井 克孝君） ７６ページ、竹林整備地域活動支援補助金２４２万２，６５３円、説明資料で７７ページ、この面積等が出てますけども、これも先ほど言いましたけど、これもだれがどのように確認されるのか。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 竹林整備につきましては、また実行の図面とかをつくっておりまして、その面積等の確認は図面と現地の立会等で確認をしております。

○議長（牧田 武文君） ２番。

○議員（２番 藤井 克孝君） ちょっとそれも図面と写真だけがありゃそれで確認で、ならこの補助金等支給されるの。確認はせずに。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 終了時点では、職員が確認ということで現地の確認をしております。

○議長（牧田 武文君） 2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 先ほどは図面と写真だけで確認ちゅうこと言われたけど、何人体制でこれ全部確認されるの。その現地確認、今言われたけど。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） まず、施業者による写真と書類ですね、それとあわせて終了時に町の職員が現地に行ってその仕上がり状況等の確認をしております。

○議長（牧田 武文君） ほかに。よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、ちょっと早いですけどこれで休憩に入ります。再開を午後1時といたします。

午前11時45分休憩

午後 0時57分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

午前中、杉原議員の質問につきまして、石原税務課長の方から説明をさせますので。

石原課長。

○税務課長（石原 伸二君） 午前中、杉原議員から固定資産税の滞納繰り越し分の収入未済額3,800万余りの法人件数、個人は幾らかということがございました。

収入未済額は87件で、そのうち法人が6件でございます。

なお、滞納状況ですが、高額滞納者上位で全体額の約7割を占め、上位10件で約8割を占めている状況でございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

そういたしますと、さっき遠藤議員、山田議員の岩山課長に対する答弁。

○農林課長（岩山 靖尚君） 最初に、山田議員さんからの質問がありました地域特産物育成事業720円について御説明いたします。

文化ホールにおきましてサンショの研修会を2回行いまして、これの冷房費ということでございます。

続きまして、遠藤議員の方より堆肥散布機の運用についての御質問がありました。

組合を設立しておりまして、組合名が三朝町堆肥散布機運用組合という組合を設立しておりま

す。構成員は、町内の畜産農家7名により構成しております。代表についても、1名決定しております。

機械につきましては、町との利用契約を結んでおりまして、無償貸し付けというようなことで運用しております。

23年度の事業実績ですが、12ヘクタール18万1,000円の利用率となっております。

それで機械の保管場所ですが、三朝町ライスセンターの倉庫ということで、使用しない期間はそこに機械は置いてあります。稼働期間は、太陽牧場また福山の農舎の方に機械があるケースが多いというような実態になっております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） その冷房費使われて、サンショの特産を展開されたということで、すけど、どういう展開がなされたのか事業の中身を教えてください。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 主にサンショの接ぎ木に関して、その台木の上に朝倉サンショといえますか、そういう接ぎ木を行いまして、現在3戸の農家で実際にサンショの苗をつくっていただいております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） せっかく特産だというふうに位置づけられておるので、3戸といわずにもっと、今年度も多分計画されとるかもしれんけども、もっともっと広めていただきたいと思えます。

○議長（牧田 武文君） 答弁は。

○議員（10番 山田 道治君） 要りません。

○議長（牧田 武文君） じゃいいですね。（「はい」と呼ぶ者あり）

進行いたします。

次に、商工費、77ページから82ページ、公園管理費まで、質疑ありませんか。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 78ページで、説明資料は51ページになりますが、企業経営者の改善指導員の派遣事業であります。恐らくこれは人件費の部分だと思えますが、旅館のIT化というのはほとんど進んでると思えますし、どのような内容で指導されたのか。

そしてまた、どのような効果があって、本当に旅館業の方々がそのことについてどういう評価

をされたのかということをお聞きしたいと思いますが。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） まず、旅館のIT化と効果と内容でございますが、IT化が進んだといっても、まだ中堅から小さい旅館はホームページを持ってない旅館もこれまで多々ありました。大きな旅館は確かに充実をしておりましたですけど、中堅から小さいところはまだそこまでいってないところもありましたので、そのホームページの立ち上げ、それから情報のつくり方ですか、そういったものを出ていって指導をしております。

そういったことによって、いわゆるインターネットを通じた商品、楽天だとかじゃらんだとかありますけど、そういった形での情報発信と宣伝が充実をしてくれておる。そこにシフトをする対応ができたということでございます。

それから、現代湯治をやるときに基本的に旅行エージェントの商品ではなくて直営方式、直販方式で、特にホームページを充実させてそこで発信をしようという最初のその立ち上げでございます。その中で、そういう湯治だとか小規模な旅館がたくさん含まれておるわけで、そういった意味からも非常に指導をしていただいたというふうに思います。

それで中でも特筆できますのは、インターネットによる放送局、ポットキャストといいますけど、ラジオで定期的に1週間に1回、三朝の情報を発信をしていくということがその指導員の技術によって取り組まれてきました。それは現在も継続をしているところでございまして、非常にそういった面では効果が生じているというふうに思っております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） ホームページの立ち上げというのは非常に大事な部分だと思いますし、ただ、そのホームページの立ち上げについて、では何件あって、では全部されたのかどうか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） すべての旅館を掌握しておるわけではありませんけど、小さい湯治旅館が二、三軒できてないというぐらいで、あとはほとんど対応できているというふうに思います。

○議員（1番 清水 成真君） あともう一つ、旅館業の方がどういう評価をされたか。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） それはやっぱり従前と違って意識が変わってきて、自分のところで情報を集めて、自分のところの情報をすぐ発信をするというそういう意識改革だというふうに思っております。以上です。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（1番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 町長に伺います。80ページにキュリー祭の補助金200万円が上がっているわけですが、23年度、今年度も24年度200万の補助金を出しているわけですが、この金額の大小というよりも、むしろ私はキュリー祭そのもののとらえ方といいますか、どうも年々マンネリ化になってる一面もございますし、当初10年前ぐらいまでは結構集落からの町民こぞっての参加というそういった勢いもあったわけですが、年々そういう意味では町民の総参加という意識が薄れてくる。高齢化というそういった状況もあるにせよ、やっぱり町内でそれほど三朝町として祭りが数あるわけではありません。一つ一つの祭り、このこともやっぱり意識といいますか、本当にやっぱり盛り上げて経済波及効果なり、町民がこぞって参加できる一つの大きなイベントであるという、この意識づけというものはしっかりとらまえていただきたいな。

やっぱりこの200万という金が少ないか多いか、これも多少それは祭りというあれはあるにせよ、役場職員もやっぱり町のイベントであるちゅうことからすれば必要以外の人は、必要最低限度の役場庁舎の仕事もありますけども、職員がもう少しやっぱり意識を持ってこの祭りをとらまえていく、考えていくというこの姿勢をぜひしっかりと来年度以降のあれはお願いしたい。町長にちょっとその辺の評価と今後の取り組みについて、この項で私は質問をいたします。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 杉原議員のお尋ねにお答えをいたします。

キュリー祭は、年々その成果は上がってきている。それは、事業の実施をした結果等についてキュリー祭について触れておりますが、子供たちに対してのマリー・キュリー夫人の遺徳をたたえるという観点において、極めて効果を上げてきているというふうに思っています。

議員御指摘の踊り等に参加する町民の方が少なくなってきたのではないかとされており、点でございますが、当初、わいわいパレードは1,000人を目標にスタートを切っております。近年、集落単位での出場というのが相当数が少なくなってきました。今回の場合に、600を若干切ったのではないかとこのように思っていますが、役場が全面的にすべてを執行する体制で臨んだ時点から、グループあるいは地域、そういったところの代表者でもって実行委員会を構成して行っていくという形態に変化をしてきております。このことが実行委員会に対しても重荷になっている面と、やる気を起こしていただいている面と両方あるというふうに思っています。ここで、議員がおっしゃってる役場の職員が少しかかわりが少ないではないかという点については、

否めない事実であるかなというふうに思っています。

今後、今年度のキュリー祭の反省等も含めて、実行委員会で早目にしっかりと検討していただいて、来年度のキュリー祭の開催について確固たる形を構築していきたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（11番 杉原 憲靖君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 78ページの三朝温泉廃油回収業務ということで205万5,860円という金額が計上されておりますが、これは聞くところによると緊急雇用対策事業での予算だというふうに聞くわけですが、その緊急雇用が終わった時点でこの観光協会委託事業というふうに思うんですけど、またこの分については補助金がアップされるのかどうなのか。

（「予算でない」と呼ぶ者あり）いや、この回収事業の予算はついとらんという流れでその大枠、観光協会に補助金が出とるだけえ、そこの中に含まれておるのか、または今回だけで終わりなのかということがまず1点と、それから今、旅館関係と地区公に廃油の回収ボックスがあって回収されとるというふうに思うわけですが、これで年間どのくらいの量を回収されて、そのできた軽油かな、その油というのはどここのマイクロバスでしたでしょうか、ということを知りたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） まず、人件費の関係でございますが、23年度で緊急雇用は終わりましたので、今年度は観光協会の臨時職員として職員を雇用しております。これは従来の観光協会の職員が2名退職をしました。その時点で臨時職員を雇うところを、この緊急雇用の制度によって雇用してきたということがありまして、今回そういう形で臨時職員という形で雇用しております。

それから、油の量ですけど、決算説明資料に収集廃油量は書いておりますが、旅館事業所で約1万6,000リットル、地区公民館で875リットルということでございまして、現在BDFの燃料として供給をしておりますのは、旅館が2件と商店が1件と、あと観光協会の収集車で6,600リットルほどの量になります。以上です。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 一応委託事業ということで、今職員が2人やめて1人は緊急雇用で使ったと。これがなくなって今度は臨時職員を使うという流れにおいても、町の補助金ちゅう

のはこの緊急雇用の臨時職員の分は増額で出とらんちゅうことですか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） もともと委託という形ではなくて、観光協会の事業として組んでおりますので、協会事業としての扱いにしております。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） じゃその協会自体でそれを運営されとる事業だな。ということは、独立採算でやられるちゅうことかな。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） そういうことになります。

○議長（牧田 武文君） 9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） 80ページですけども、その映画広報宣伝支援事業というのは、映画は「恋谷橋」のことでしょうか。それと、どういう内容ですか。これを教えてください。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 映画については「恋谷橋」の映画のことございまして、これは昨年、県内そして東京を皮切りに全国上映を行いまして、そのための県外での宣伝PR活動でございまして、もう1点は、映画の中で出てきました和紙明かりの取り組みを実際にそういう地域、三朝温泉の観光の新たな目玉として立ち上げてきて実施をした。そういったような経費でございまして。

○議長（牧田 武文君） 9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） この映画でどのように、その反応というかね、いろんなところからの反応というのはありましたでしょうか、その辺をお伺いしたいです。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 県内のいろいろと見ていただいた方の約1万人弱ぐらいの方の感想なり、それからとにかく映画の中で三朝温泉の場面がほとんどを占めておるわけで、そういったところの効果なりはお聞きしております。

県外につきましては、北海道それから沖縄、四国以外の国内ではほぼといいますか、おおむね上映される中で、全体のその反響といいますか、そういったところは直接には聞いてはおりませんが、いろいろと県外に観光宣伝とか出る中で、映画を見たよだとかDVDが出たら買いますよだとか、それから三朝温泉のことだとか、そういった情報はそれぞれの中から聞いておる、そういったような状況でございまして。

○議長（牧田 武文君） 9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） せっかく三朝の温泉をあれしたものですから、どんどん宣伝しながらやっぱり三朝温泉というのを知ってもらって、誘客のあれにつなげていく方向になればいいなと思っております。特に回答要りませんので、そういうことを思いを持っております。以上です。

○議長（牧田 武文君） ほかに。
5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 80ページの日本海駅伝競走大会開催補助金65万円、これずっと続けられるようですけども、その実証効果ちゅうか、その補助金に対する効果ちゅうのは分析されとるのか、検証されとるのかちょっと聞きたい。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 日本海駅伝によって、全体の中で高校生が130余りのチーム出場されて、そのうち三朝温泉に19チーム宿泊をされて、宿泊をされる方が大体300人ぐらい毎年ございます。

その中で、そういった選手の方、関係者の方が毎年三朝温泉にお泊まりをいただいております。ということは、その皆さんがそれぞれの住んでおられるところの中で三朝温泉でのそういった情報を伝えていただけるものだ。確固としたこうだということは持っておりませんが、そういった印象の中で毎年お迎えをしております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 先ほど続けてやろうかなと思っておりましたが、済みません。

80ページの下段であります。東日本大震災によるというのでありますが、ブランナールみささも決算の方で東日本大震災によって非常に観光客が少なくなっているというような決算の説明もあったわけですけども、これ楽天とじゃらん広告宣伝という形でやっておりますが、すべての旅館ではないですよ。それはなぜそういうふうな形になっているのか、教えていただければと思います。

それと、もう一つ、この楽天とじゃらんを利用して宿泊された件数というのは何件ぐらいありますか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） まず、楽天とじゃらんと契約をされとる旅館というのはすべてではございません。ただ、震災の影響を受ける旅館の規模というのが、やはりそれなりに誘客力の強い旅館というのが占めるわけですし、それでまず誘客自体に即効性を持たないといけないということもございましたので、インターネットでいろんな特典をつけてやるのがまずベストなんでしょう。それとあわせて、三朝がやるときに県も同じようなことでやっていたので、そこと合わせることによってより効果があるということでもございましたので、楽天とじゃらんという選択をさせていただいたと。

もう一つ、これは合銀さんから御紹介をさせていただいたんですけど、いわゆる会社の社会福祉厚生との関係のそういったネットワークがございまして、その中でも発信をさせていただいたと。それは特に三朝の中でどこが加盟をしているということではなくって、そのルートを使って三朝温泉の発信をしたという２段階で実施をしたところでございます。

インターネットを使ったじゃらんとか楽天の実績については数字が来ておりませんので、把握はしておりません。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） まず、楽天とじゃらんの登録のが件数が違いますね。その点はなぜかということです。

それから、調査はやはりこちらの方から電話をかけて調査するべきであって、向こうから報告するということがなくて、何件ぐらいありましたかというふうに県も実際にやられるわけですから、そういう調査を。ですから町もやはり調査をして、こういうふうなところで何件ありましたというような調査はやっぱりこちらの方からするべきでないかと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 調査につきましては、議員が言われることだというふうに私も思っております。そういった意味で、これからやっぱり町の方で旅館の中のいろんなそういったデータを集約をして、戦略的に向かう方向がある必然性を感じておるところでございます。以上でございます。

○議員（1番 清水 成真君） もう一つ、違う。

○議長（牧田 武文君） 課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） それはそれぞれ旅館さん、契約内容が違うということがまずあるみたいです。それと、あとはそのときによって楽天が営業的に強い時期とか、じゃらんが強い

時期とかそういうこともあるようなので、その一つのそれぞれの会社との協議の中で選択をされとるように私は把握しております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 知久馬館長さんにお聞きしますが、プランナールはなぜ楽天には登録しておいてじゃらんには登録されていないのでしょうか。（発言する者あり）関連の質問だと思えます。

○議長（牧田 武文君） これは後からでいいんじゃないかな、プランナールは後で出てきますので。（「関連だけえええですが」と呼ぶ者あり）そんなことおまえが決めん、おれが決める。どうしても聞きたいか。

○議員（1 番 清水 成真君） いや、楽天とじゃらんのことなので。

○議長（牧田 武文君） なら、知久馬管理者。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） それぞれ旅館によってじゃらんであるとか楽天であるとかという部分のメリット、デメリットがありまして、両方するのが本当はいいですけども、経費的な面からそちらを選んだということでございます。

○議長（牧田 武文君） 納得されましたか。

○議員（1 番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 82 ページ、上段の方ですけど、公園施設維持管理経費と、それから都市公園施設維持管理経費、総額で五百何十万ちゅう金が上がるとるわけです。これいつもよう聞くですけどね、この経費削減ということで管理にちょっと工夫とか何かされとるか聞きたい。例えば草刈りを除草剤で1 回ぐらいカバーするとかなんかちゅうようなことも再々言っとるわけですけども、何かいつも定額みたいな金額が上がるとるわけですけども、管理経費の削減に向けて何か努力されとるか。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 議員御質問の管理経費の削減についてでございます。

管理経費につきましては、毎年指名競争入札というのをを行うと同時に、単価についてシルバー人材センターの方が安いといったような事例もありますので、それぞれ場所ごとに勘案しながら経費の削減に向けて入札等を行っておるところでございます。

それと、あわせて具体的に今除草剤ということを言われましたけれども、公園とか観光地がメ

ーンでございますので、環境のこと、それから子供たちが利用するということもありますので、除草剤については今のところ噴霧しとらんような状態でございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 今、子供たちが利用する除草剤どうこうと言いなったけども、人間に害を及ぼすような除草剤って今日本にあるですか。散布してだよ、飲んだらいけんよ。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） あくまでも除草剤は、濃かったら人間には害があると思っております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） ちょっと見解の相違でね、安全使用基準ちゅうのがあるだけ、除草剤何倍したらどうこうというのが。それちょっと答弁がおかしいと思う。

それから、もう一つ、今、経費削減でシルバー人材センターどうこう云々と言われたけども、それならまんだ地域協議会、例えば地域にある公園を地域協議会にする方がまんだ安いじゃないですか。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） おっしゃるとおり、林道であるとかそれから農道等において建設関係の方の費用の方で地域協議会でありますとか集落の方をお願いしておるとい実態もどんどん進めておるところでございます。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 公園の話聞いとるが、林道の話ちゅうやなの聞いとらへんが。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 公園の部分につきましては、剪定作業があったりということがありまして、集落等にはお願いしとらんのが実態でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） 済みません、7 8 ページ、説明資料で3 7 ページ、荒廃公有財産管理業務1 9 9 万5, 2 0 0 円。これはここに説明資料で書いてあるんですけど、委託費、ウオーキングセンター、それから風穴の修繕、これはどこに委託されてるのか。

それから、その周辺の除草作業はどのようにされているのか。ちょっとその2 点。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 議員御質問の今の委託先でございますが、これはシルバー人材センターの方に委託しておりまして、決算説明資料に書いてあります部分の清掃の状況の確認、それから落石、ごみ等の撤去、それから草刈り、それから見回り点検を順次いただいております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） シルバー人材センターの方に委託されてるって言われたんですけど、草等は観光地であって何遍ぐらい除草されとるかちゅうのも含めて管理されとるのか。風穴周りの草刈りもあれですね。

というのが、前回その看板等、三徳山にある設置の看板等を見てウォーキングされて、その場所等もわかりにくいちゅうのも含めて、行かれたお客さんが、周りももう草ぼうぼうで、横しの方に行ったらマムシがぐるっと巻いとったと。そういう観光地を町としてもやっぱり見回りとかどのように、この今の時期になったら草をやっぱり除草しなくちゃいけないかという、そこら辺がちょっと抜けてる面もあるんじゃないかと思うんだけど、除草作業なんかでも何回ぐらい除草されとるんか、この周り。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 除草作業というのは、具体的にはその場所ごとに草がよく生える場所、よく生えない場所等を勘案しまして、多いところでは年間5回やっております。

それから、少ないところでは年2回というふうになっておるんですけども、非常に夏場の草がよう生える時期のときにちょうど草刈りの前時分に行かれるような人もあったりもしまして、こちらの方でも直接電話がかかってきたときには職員が草刈りに出かけとるというのも実態でございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） 最後ですね。世界遺産に向けての観光地の一角であるんで、ウォーキングセンター周りでも風穴の周りでも常時やっぱり点検されて周りをきれいにして、いつでもお客さんが安心して見られるように手をやっぱり入れていただきたいと思います。以上です。

○議長（牧田 武文君） 答弁はいいですか。

○議員（2 番 藤井 克孝君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、土木費、81ページから86ページ、住宅管理費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、消防費、85ページから88ページまで、質疑ありませんか。

3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） やっと回ってまいりました。

私は、88ページ、説明資料は32ページになるんですが、災害対策特別費というものを町の方で474万7,000円余りを使っております。これは職員の防災資機材と書いてます。かっぱ、長靴、ヘルメットとこう書いてありますが、これは防災に関連する人だけなのか、あるいは職員全体に配られているものか。まずこれを聞きたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 松原危機管理課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） 職員全員です。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） それでしたら、一般に、要するに世間に売り出されているものなのか、あるいは防災だと雨に強いとか、あるいは長靴には滑りどめがついてるとか、あるいはヘルメットには1トン以上の耐久力があるだとか、そういうものにこだわっては仕入れてないんですか、業者との間は。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） かっぱ等におきましては、もちろん防水性があるということが大切ですし、三朝町ということで、これを整備いたしましたそもそもは、昨年12月、第3配備体制ということで全職員を役場に集めました。そこから始まってありますが、それでヘルメット、それから長靴、ヘルメットについてはまずJISマーク、ですから工業製品として認められたものということでそういうのを買ってありますし、長靴については低いものでなくして長いもの、こういうことで買ってあります。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） それで、職員の退職されていかれた、あるいはやめられた方がもちろんお持ちでありますよね。このやめられた方にこの長靴やすべてをお渡しするのか、あるいは所管として置いてとくのか、その点はどうなんですか。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） 退職された方、返していただいています。

○議長（牧田 武文君） ほかに。よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、教育費、87ページから100ページまで、質疑ありませんか。

6番。

○議員（6番 平井 満博君） ちょっと昨年の決算のときにも聞いたですけども、100ページの多目的スポーツ広場、一般管理費で1万5,000円ほど出とるんですけども、昨年聞いたときに利用されていないという指摘の中で今後どのように活用されるかということで質問したときに、今後検討してまた利活用を促進していくというような説明があったと思うんですけども、現状を見ると全く変わっていないというふうに思うんですけども、どのような検討をされたのかちょっとお聞きしたい。

○議長（牧田 武文君） 平井生涯学習課長。

○生涯学習課長（平井 文彦君） 平井議員の質問にお答えいたします。

多目的スポーツ広場は、現在、結論から言いますと使っていただいております。というのは、4月3日の大風によりまして上の寄附をいただいております屋根つきの休憩施設ですね、それが風に飛ばされた折に、そこを使用されている方が下の方を今後使いたいということもありまして、現在使っております。

ただし片面、20メートルの40メートルですか、半分ですけども、ダンプ9杯、上の方を削りまして、中部製砂の真砂をいただいて整備しております。今使っていただいております。これは6月20日の総務教育常任委員会でも報告させていただいております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） 落ち込んだやな、ちょっと見えない部分であるかもしれん。グラウンドゴルフの方が今あそこでされてない状況を見たときに、どこでされとるんかなという思いはあったんですけども、あとの半面の部分についてもやっぱり何とか積極的な活用という部分も含めながら、いわば管理をどこかに委託するとか、もう多目的な方向に検討するとかということも必要ではないかと。来年の決算のときには、ここに使用何名ということが出てくるように積極的に活用されることを希望します。以上です。

○議長（牧田 武文君） 答弁いいですね。

○議員（6番 平井 満博君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 92 ページ、学校管理費の中で下から5 つ目、中学校武道必修科事業139万7,000円。これは全学年を対象にしてやられたのか。武道というのは柔道なのか。それから、年間何回ぐらいやられたのか。それから、地域性の高い地域指導員というのは町内の方か町外の方なのか。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） まず、指導者につきましてはダンスと柔道がございますので、ダンスについては町内の方、武道については町外の方を講師に招いております。

それと、年間回数につきまして体育の授業ということでみなしておりますので、ちょっと何回かという答弁は数えておりませんが、いわゆる体育ということで御理解いただきたいと思います。対象は全生徒でございます。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） この導入に当たっては、いろいろ柔道の部分で言われているがある中で、今回行われたその授業の中で柔道については問題はなかったのかどうか。危険性がいろいろ言われている中で。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 危険なことは全くない。先生、いわゆるそのための外部指導者だというふうに認識いたしております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 終わります。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 96 ページの下ですけども、図書館であります、毎年大体300万程度の図書の整備だと思えます。これずっと変わっていないような気がするんですね。この300万ぐらいの図書の整備で、町民のサービス等々の状況にちゃんとこたえられているのかどうか、ちょっとお聞きしたいと思います。もっとふやす方がいいのか、足りているのか。

○議長（牧田 武文君） 松原生涯学習課参事。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） 図書の冊数も含めて、金額的なものが変わってないということですけども、まず一つは、新刊がふえた方がやはり利用者にとってはありがたいという部分は

あります。

それとあわせて、県立図書館それから町村の図書館との交流的なもの、相互対応という形で利用をさせていただいておるといのが今の実態であります。ですから、新刊がふえた方が大変ありがたいというふうに思っております。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 三朝町の図書館は非常に評判がいいんですね。町外の方々も随分と使われておるような状況であって、やはりそういう評判のいいせっかくいい施設があるわけですから、ぜひ来年度予算もそういうものを加味しながら、必要なものは必要だというふうなことで行っていただけたらなと思います。

○議長（牧田 武文君） 答弁は。

○議員（1 番 清水 成真君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、災害復旧費から予備費まで、99 ページから104 ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

その他、全般について、質疑ありませんか。

8 番。

○議員（8 番 横木 文雄君） 財産に関する調書について、ちょっとお尋ねをいたします。

4 ページから6 ページにかけてですけども、貸付金として学校給食用物資買い付け金貸付金というのが13万8,000円設定されておまして、平成23年度はその利用がゼロです。22年度も調べてみましたが、それもゼロでございました。この制度がどういうふうな制度で、この貸付金を設置することが必要なのかどうなのか。その必要性がないとしたなら、廃止をしてもいいではないかというふうに思います。

関連してですが、三朝町国民健康保険の貸付金の基金が200万設定されております。これは高額療養費等が窓口で精算されて……。

○議長（牧田 武文君） ちょっと横木議員、これ一般会計のその他ですので。

○議員（8 番 横木 文雄君） これはどこでしたらええですか。その他全般ということではなかったですか。

○議長（牧田 武文君） いや、一般会計の方です、今ずっとやってきたの。

○議員（8番 横木 文雄君） いや、この財産に関する調書はどこでしたらいいですか。

○議長（牧田 武文君） 議案が済んでからだそうですね。

○議員（8番 横木 文雄君） どの議案が済んでからですか。

○議長（牧田 武文君） 全部済んでからだって。

○議員（8番 横木 文雄君） その他全般についてということは、どういうふうに理解したらいいですか。

○議長（牧田 武文君） ちょっとしばらく休憩いたします。

午後1時43分休憩

午後1時44分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

横木議員、わかりましたかな、意味が。

○議員（8番 横木 文雄君） 72号が済んでからということですね。

○議長（牧田 武文君） そういうことです。後でまたお願いします。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 初めに聞き逃しましたんで今聞きますけども、手作り訪仏事業ということで上がっております予算……（「そういうのはいいんか」と呼ぶ者あり）そういう意味だろ、今の。（「その他ということで」と呼ぶ者あり）聞き逃した分はいけんか。（「いけんだらあ」と呼ぶ者あり）こういうとらえで言ったが、今。

○議長（牧田 武文君） しばらく休憩します。

午後1時45分休憩

午後1時45分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

よろしいでしょうか、皆さん。ございませんか。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 紛らわしい表現するなよ、わからんから。（「はい」と呼ぶ者あり）

〔質疑なし〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

以上で議案第59号、平成23年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定に対する質疑を終結します。

しばらく休憩をいたします。再開を1時55分からとします。

午後1時45分休憩

午後1時55分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

議案第60号、平成23年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） 6ページですけれども、国民健康保険税が4,691万7,445円というのが滞納になっておるですけれども、一般被保険者とそれから退職被保険者の分と合わせて。どのような、何件ぐらいあって、この徴収はどのようにされているのかをお伺いいたします。

○議長（牧田 武文君） 石原税務課長。

○税務課長（石原 伸二君） 国民健康保険税の収入未済額4,691万7,000円は、件数にいたしますと174件余りでございます。

それで滞納者の方に対しましては分納誓約なり連合委託をしている状態で、現年課税分の滞納者10名、20万以上の方がおよそ半数を占めている状況でございます。また、滞納繰り越し分につきましては、滞納者10名、100万以上でおよそ4割を占めている状況でございます。

それと、広域連合に委託している状況は1,950万の滞納繰り越し分の部分がございます、280万余り収納されております。連合の徴収率は11%余りという状態でございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 9番。

○議員（9番 知久馬二三子君） たまればたまるほど払いにくなるし、計画的にその徴収するようなことにはなってるわけですね。どのように、その滞納者に対してはこのように支払いするというような計画は立ててあるわけですね。

○議長（牧田 武文君） 石原課長。

○税務課長（石原 伸二君） 分納誓約で年度末までに納めていただく約束等を行っている状態でございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（9番 知久馬二三子君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

議案第61号、平成23年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、
質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第62号、平成23年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑
ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第63号、平成23年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑
ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第64号、平成23年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑
ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第65号、平成23年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑あ
りませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第66号、平成23年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について、
質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第67号、平成23年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について、

質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第68号、平成23年度三朝町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第69号、平成23年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第70号、平成23年度三朝町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第71号、平成23年度三朝町国民宿舎事業会計決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第72号、三朝町基金条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で議案に対する質疑を終結いたします。

8番。

○議員（8番 横木 文雄君） 先ほどはどうも失礼しました。

財産に関する調書についてお尋ねをしたいと思います。

調書の4ページに、学校給食用物資買い付け金貸付金として設定されておるわけです。この用途について、23年度は増減がございませんが、23年度末では13万8,000円で、その事業がどのように遂行されているのかお尋ねをしたいと思います。

同じくその次のページの6ページで、三朝町国民健康保険の基金が200万設定されておりまして、23年度の増減はなしで、22年度においても同じような状況でございました。これは高

額療養費が窓口で差し引き精算されて支払いができるという状況になった段階で、高額療養費の貸付金を申し込みする人がなくなったのではないかというふうに想像するわけですが、窓口業務で精算できない医療機関があるとしたなら、この基金も有効だと思えます。本来ならこの基金が使われない状況が理想的だと思えますが、医療機関で窓口負担で差し引きできない医療機関があるとしたなら、その医療機関に対して差し引きができるような措置を講じていくということが必要だと思いますが、実態と基金のあり方についてお尋ねをいたします。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 4ページの貸付金の御質問でございますが、学校給食用物資買い付け金貸付金ですが、財団法人鳥取県学校給食会に貸し付けておるものでございまして、買い付けの運転資金ということで、十分に現在も有益な貸し付けとなっておりますので、年度を区切ったの返還、また貸し付けという巡回して貸し付け、返金を行っておりますので、今年度についてはないわけですが、十分な有益な貸し付けだということで御理解いただきたいと思えます。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 国民健康保険の高額療養費の貸付基金のことでございます。

これにつきましては、議員のおっしゃるように限度額適用認定証等の制度が整っておりますので現在ゼロというふうなことでございますが、今現在で中部の圏域の医療機関でどのような扱いがされているか。先ほどおっしゃったような実態を把握しながら、そしてさらにその実態に基づきまして、基金のあり方について検討をさせていただくというふうなことで考えております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

そういたしますと、お諮りいたします。ただいま議題となっております20件の議案のうち、議案第59号、平成23年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定については、5人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議案第59号、平成23年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定については、5人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員会を設置し、これに付託、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。特別委員の選任は、議長において指名いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決定いたしました。

指名いたします。総務教育常任委員会から山田道治議員、藤井克孝議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、吉田文夫議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上5名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名をいたしました5名の諸君を特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から山田道治議員、藤井克孝議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、吉田文夫議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上5名の諸君が特別委員に選任されました。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の19件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議案第59号、平成23年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定についてを除く19件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおりそれぞれ所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

なお、議案第59号、平成23年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定につきましても、それぞれ所管事項の審査を各常任委員会をお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

あすは休会とし、明後日からは日程表のとおり各委員会を行い、9月21日の最終日は午後3時から本会議を開催いたします。

本日はこれにて散会いたします。

午後2時09分散会
